

2023年10月期 第2四半期決算説明資料

株式会社AB & Company

(証券コード：9251)

会社概要

代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門学校を卒業後、青山の美容室にてスタイリストとして勤務を開始。低賃金・長時間労働が常態化する美容室業界に疑問を抱き、業界変革を目指して2009年に独立、当社を創業。

企業理念

「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることがより良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

事業概要

HAIR SALON
Agu.

直営美容室運営
事業



直営店舗の
運営

フランチャイズ
事業



FC店舗の
運営サポート

インテリアデザイン
事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

2023年10月期 第2四半期実績 連結サマリ

2Q累計ベースで売上収益は前年同期比+44.1%、営業利益は+76.1%となった

新型コロナ影響の低減に加え、前期のFC2社買収も寄与（買収影響額は売上収益：+1,698百万円、営業利益：+69百万円）

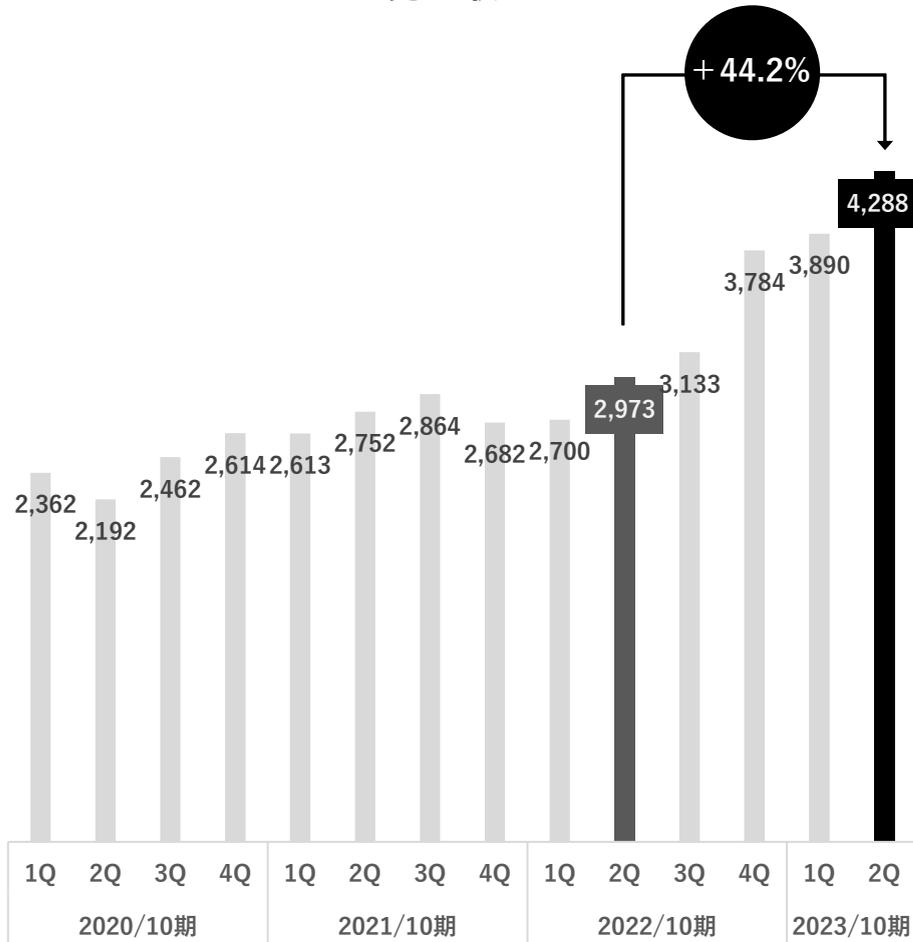
	2Q単四半期	前年同期比	2Q累計	前年同期比
売上収益	4,288百万円	+44.2%	8,178百万円	+44.1%
営業利益	493百万円	+58.6%	890百万円	+76.1%
調整後 EBITDA	650百万円	+52.8%	1,192百万円	+59.7%

*調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため）

2023年10月期 第2四半期実績（四半期推移）

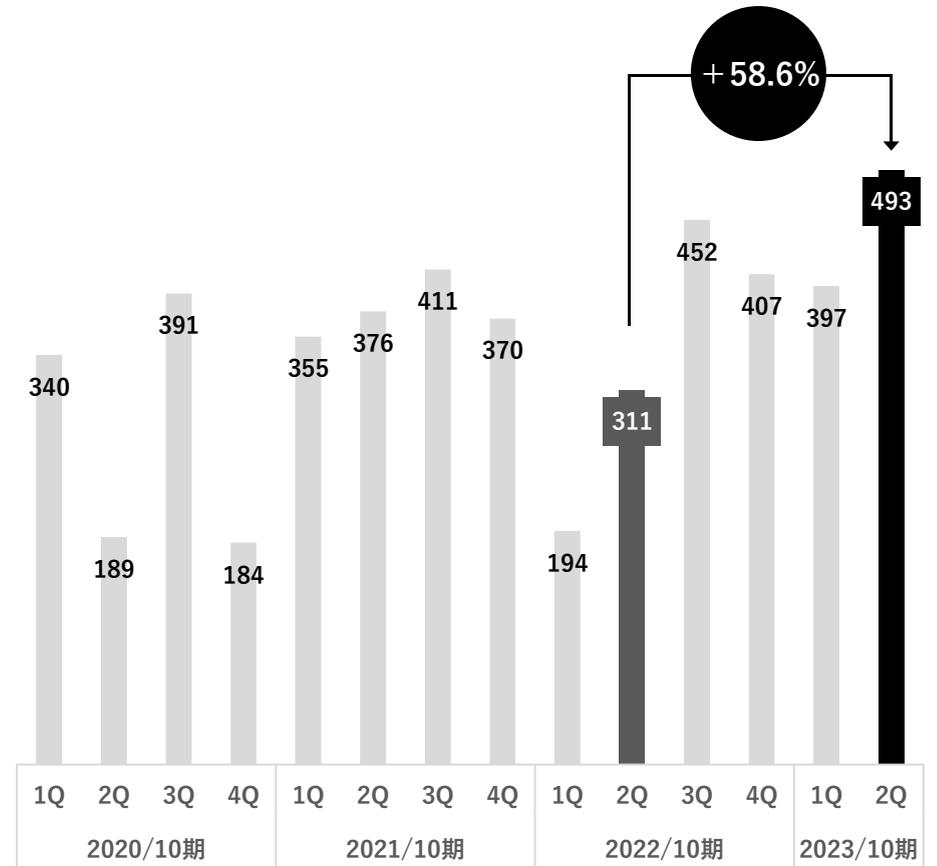
売上収益・営業利益ともに堅調に推移

売上収益



(単位：百万円)

営業利益



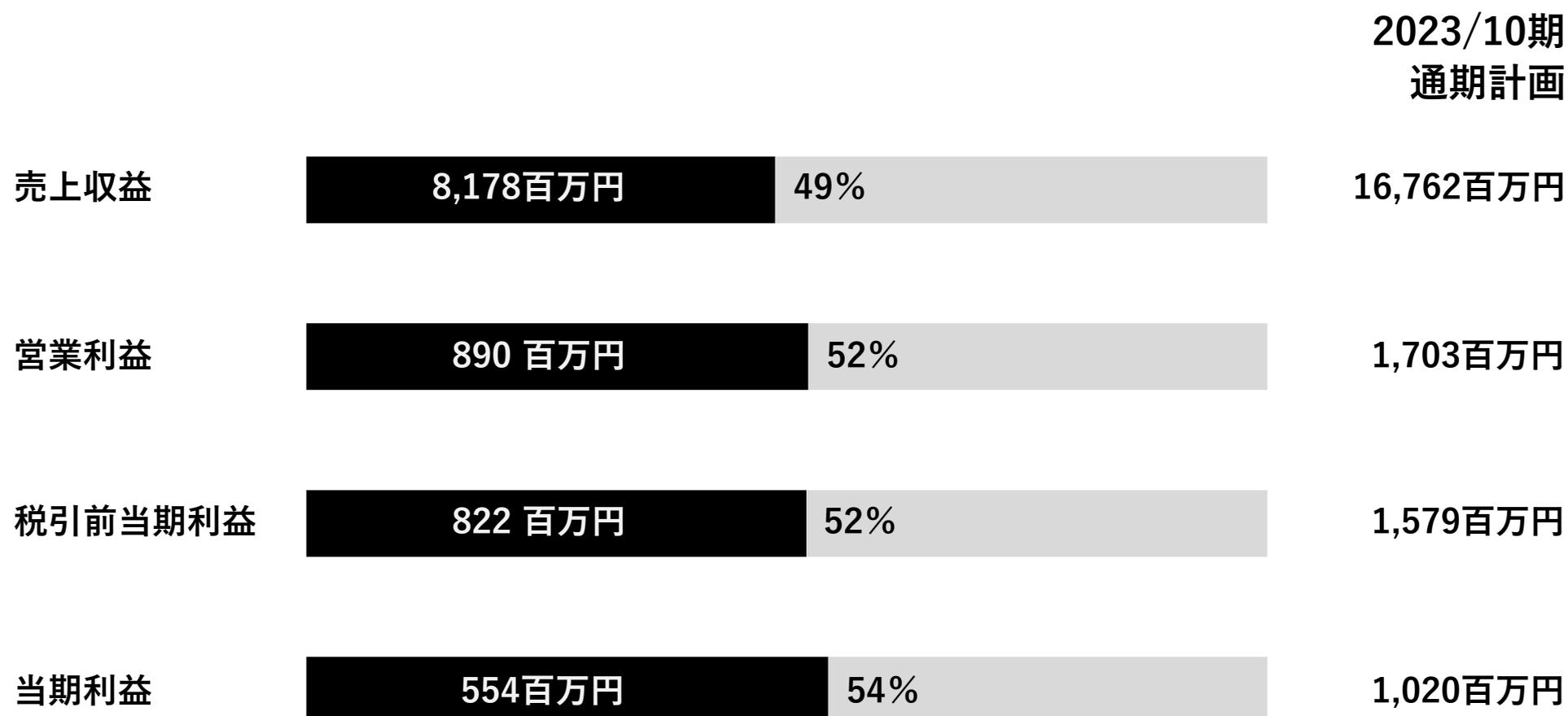
2023年10月期 第2四半期実績 計画比

計画比においても、順調に進捗（当期の四半期毎の売上収益・営業利益計画は2022年10月期決算説明資料（2022年12月15日開示）P2にて開示済）

	2Q 単四半期			2Q 累計		
	計画	実績	差 (%)	計画	実績	差 (%)
売上収益	4,204 百万円	4,288 百万円	+2.0%	8,010 百万円	8,178 百万円	+2.1%
営業利益	422 百万円	493 百万円	+16.8%	731 百万円	890 百万円	+21.8%

2023年10月期 第2四半期 通期計画対比進捗率

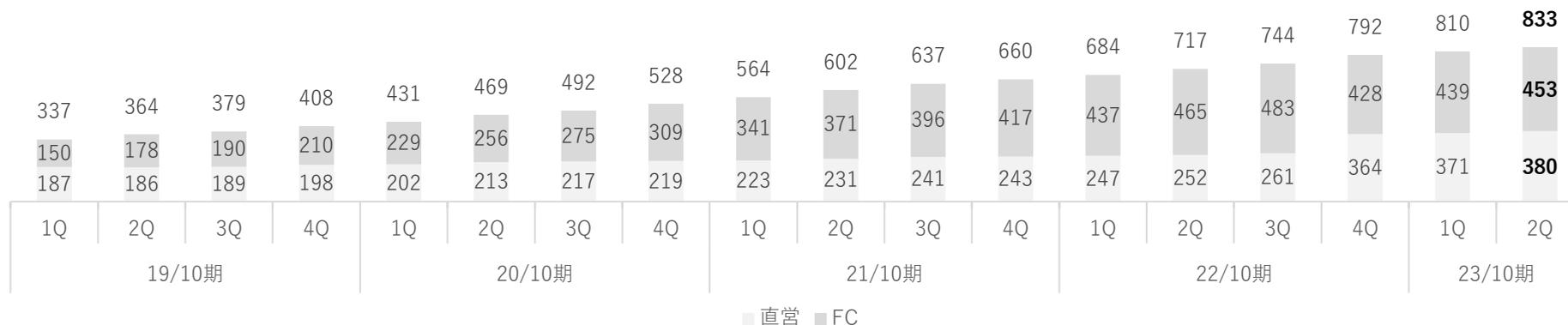
上期よりも下期の方が売上・利益ともに高い水準になる傾向のため、順調な進捗と認識



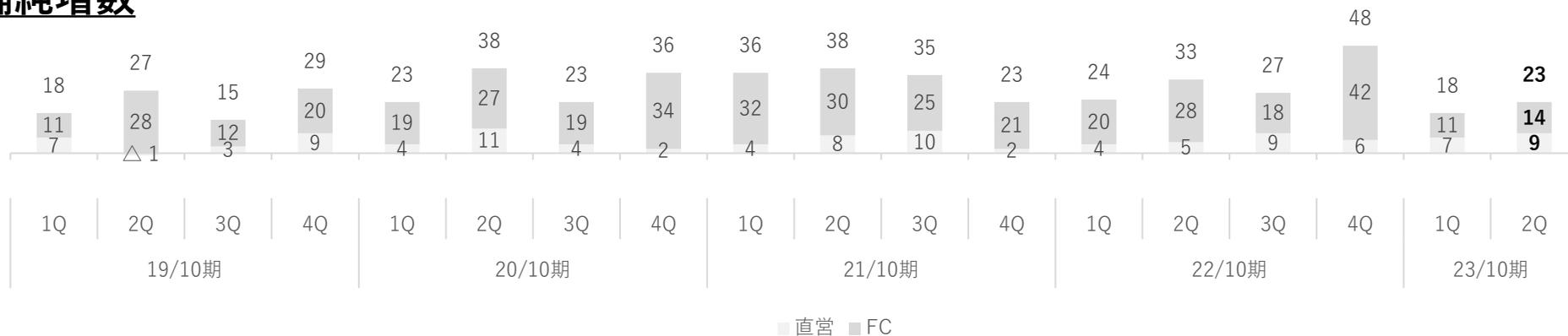
国内店舗数 推移

店舗純増数：上期合計で41とスローペースではあるが、3Qに45程度、4Qに50程度の純増を想定
 (通期計画の店舗純増数135は達成できる見込み)

店舗数



店舗純増数



店舗売上KPI 実績推移 (2Q単四半期ベース)

- 顧客単価の前年比伸長が顕著 (直営:+4.9%、FC:+4.5%)
- メニュー (施術内容、単価) の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇

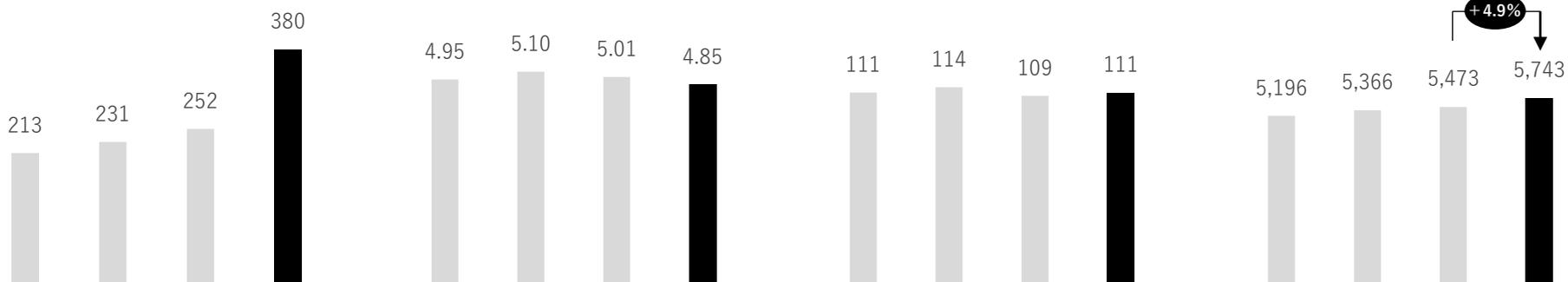
国内店舗数
(2Q末)

国内店舗あたり
スタイリスト数
(2Q平均)

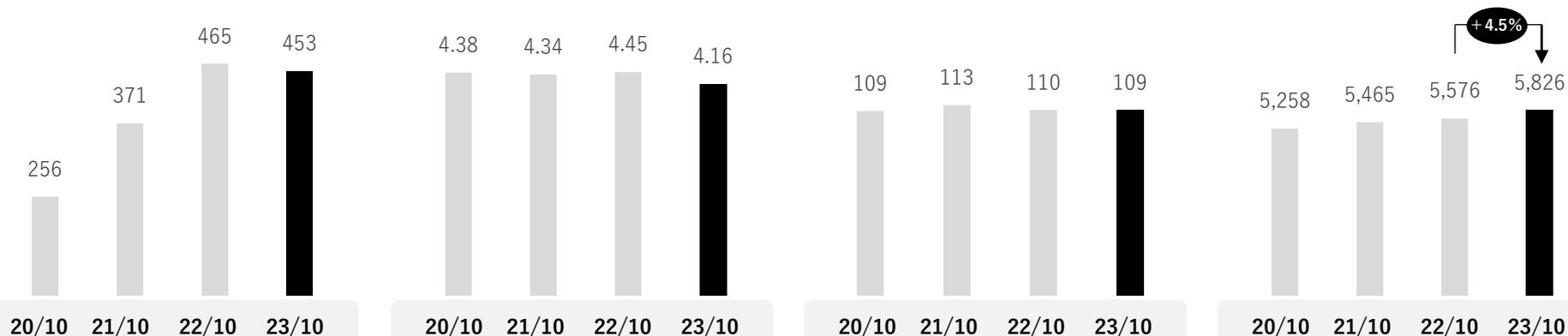
スタイリストあたり
顧客数
(2Q平均)

顧客単価
(2Q平均)

直営



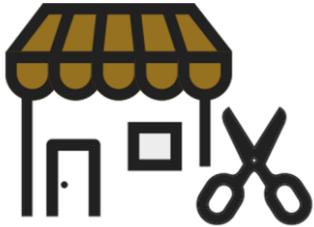
FC



事業セグメント

美容室運営 HAIR SALON Agu. 等

直営美容室運営 事業



直営店舗の運営

フランチャイズ 事業



FC店舗の
運営サポート

店舗内装のデザイン・工事

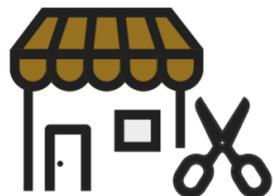
インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

事業セグメント 2Q単四半期

直営美容室運営事業



売上収益

3,504百万円

前年同期比

+ 56.2 %

セグメント利益

139百万円

前年同期比

+ 989.2 %

フランチャイズ
事業

売上収益

568百万円

前年同期比

+ 8.4 %

セグメント利益

195百万円

前年同期比

▲14.1 %

インテリアデザイン
事業

売上収益

581百万円

前年同期比

+ 17.3 %

セグメント利益

52百万円

前年同期比

+ 21.9 %

事業セグメント 2Q累計

直営美容室運営事業



売上収益

6,803百万円

前年同期比

+ 53.7 %

セグメント利益

210百万円

前年同期比

- %

→前年は▲42百万円

フランチャイズ
事業

売上収益

1,098百万円

前年同期比

+ 10.9 %

セグメント利益

414百万円

前年同期比

+ 6.4 %

インテリアデザイン
事業

売上収益

1,008百万円

前年同期比

+ 21.7 %

セグメント利益

78百万円

前年同期比

+ 45.8 %

セグメント概況（前年同期比） 直営美容室運営事業

- ・ 2022年8月の（原価率が相対的に高い）FC 2社買収の影響により、売上総利益率は微減
- ・ リピーターの積み上がりに伴う広告宣伝費の抑制等から、販管費率は低下

	1Q			2Q			2Q累計		
	2022/10期	2023/10期	増減	2022/10期	2023/10期	増減	2022/10期	2023/10期	増減
売上収益	2,182	3,298	51.1%	2,242	3,504	56.2%	4,425	6,803	53.7%
売上原価	1,248	1,903	52.4%	1,280	2,037	59.1%	2,529	3,940	55.8%
売上総利益	934	1,395	49.4%	962	1,467	52.4%	1,896	2,862	50.9%
売上総利益率	42.8%	42.3%	▲ 0.5	42.9%	41.9%	▲ 1.1	42.9%	42.1%	▲ 0.8
販管費	968	1,325	36.9%	955	1,312	37.3%	1,923	2,637	37.1%
その他収益	3	2	▲30.5%	9	6	▲36.8%	13	8	▲35.1%
その他費用	24	2	▲89.9%	3	21	450.4%	28	23	▲17.5%
セグメント利益	▲ 55	70	-	12	139	989.2%	▲ 42	210	-
セグメント利益率	▲2.5%	2.1%	4.7	0.6%	4.0%	3.4	▲1.0%	3.1%	4.0

セグメント概況（前年同期比） フランチャイズ事業

システム関連の一過性の費用発生や、人件費・経営指導料等の増加により、販管費が増加

	1Q			2Q			2Q累計		
	2022/10期	2023/10期	増減	2022/10期	2023/10期	増減	2022/10期	2023/10期	増減
売上収益	466	529	13.6%	524	568	8.4%	991	1,098	10.9%
外部売上	302	302	▲0.1%	332	328	▲1.5%	635	630	▲0.8%
売上原価	33	34	3.1%	35	38	9.0%	68	73	6.1%
売上総利益	432	495	14.5%	489	530	8.3%	922	1,025	11.2%
売上総利益率	92.8%	93.5%	0.7	93.2%	93.2%	▲ 0.0	93.0%	93.3%	0.3
販管費	267	284	6.5%	262	337	28.5%	529	622	17.4%
その他収益	6	7	27.5%	0	2	164.5%	7	10	45.4%
その他費用	10	0	▲99.8%	0	0	-	10	0	▲100.0%
セグメント利益	161	218	35.1%	227	195	▲14.1%	389	414	6.4%
セグメント利益率	34.7%	41.3%	6.6	43.3%	34.3%	▲ 9.0	39.3%	37.7%	▲ 1.6

セグメント概況（前年同期比） インテリアデザイン事業

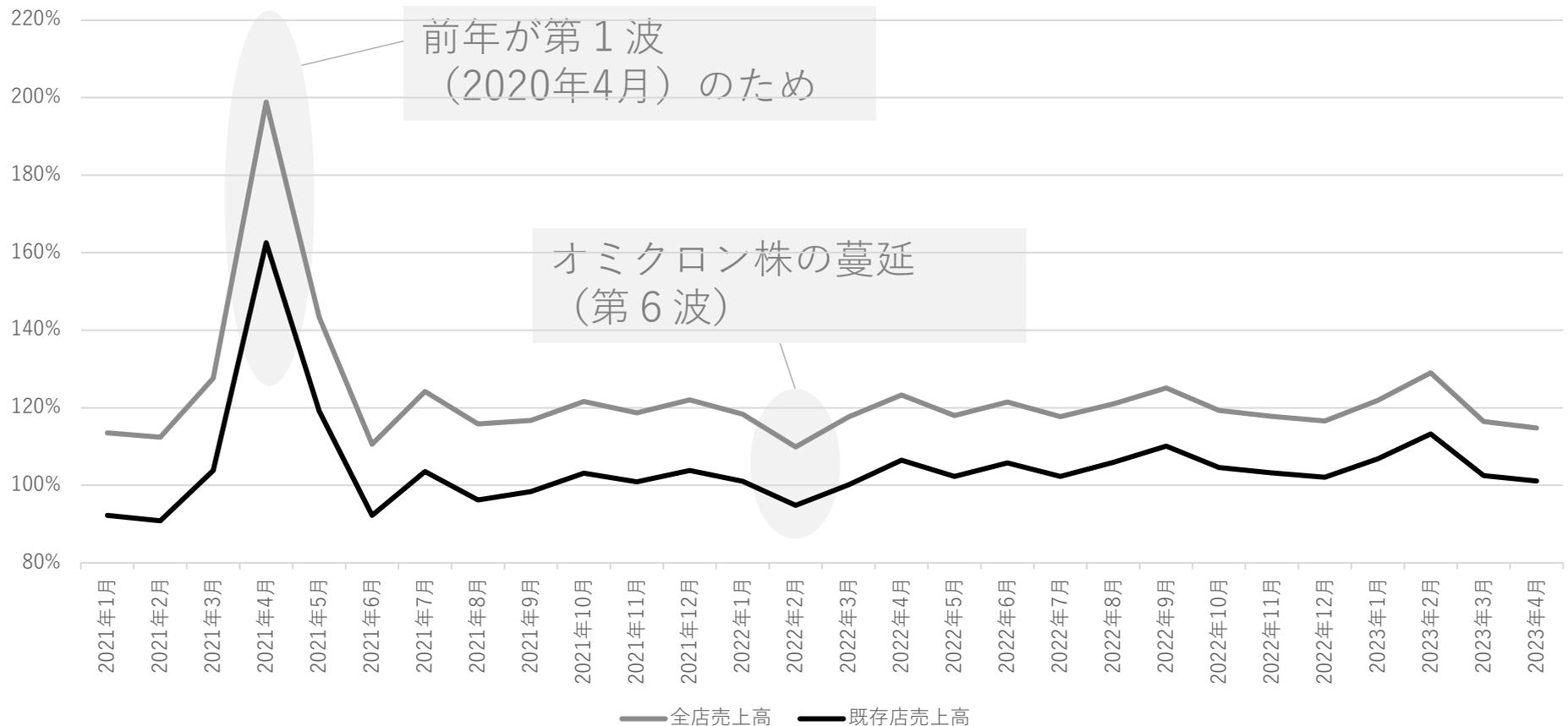
- ・ 売上総利益率の高い、美容室以外の案件受注が増加し、売上総利益率が向上
- ・ 一方で上記案件受注のための営業費用（販促費・人件費）が増加

	1Q			2Q			2Q累計		
	2022/10期	2023/10期	増減	2022/10期	2023/10期	増減	2022/10期	2023/10期	増減
売上収益	317	427	34.6%	495	581	17.3%	813	1,008	24.0%
外部売上	215	289	34.6%	397	456	14.7%	612	745	21.7%
売上原価	246	321	30.3%	383	433	13.1%	629	754	19.8%
売上総利益	70	105	49.4%	112	148	31.6%	183	253	38.5%
売上総利益率	22.3%	24.7%	2.5	22.7%	25.5%	2.8	22.5%	25.2%	2.6
販管費	60	80	32.8%	70	93	33.3%	131	174	33.0%
その他収益	0	0	13.8%	1	0	▲73.4%	1	0	▲56.8%
その他費用	0	0	-	0	1	-	0	1	-
セグメント利益	10	25	148.7%	43	52	21.9%	53	78	45.8%
セグメント利益率	3.2%	5.9%	2.7	8.8%	9.1%	0.3	6.6%	7.7%	1.2

全店・既存店 店舗売上高（前年同月対比）

全店売上高：直近は115%～120%前後で推移

既存店売上高：2022年2月にオミクロン株の影響で前年割れとなって以降、100%超が継続



BS概況 (IFRS)

(金額単位：百万円)

	2022/10 期末	2023/10 2Q末	増減
現金及び現金同等物	1,941	1,715	▲ 225
営業債権及びその他の債権	757	1,041	283
棚卸資産	71	113	42
その他の流動資産	408	423	14
流動資産合計	3,179	3,294	114
有形固定資産	1,388	1,374	▲ 14
使用権資産	4,609	4,465	▲ 143
のれん	8,502	8,488	▲ 13
無形資産	4,403	4,406	3
持分法で会計処理されている投資	0	0	0
その他の金融資産	525	544	19
繰延税金資産	412	412	0
その他の非流動資産	32	33	0
非流動資産合計	19,874	19,725	▲ 148
資産合計	23,053	23,019	▲ 33

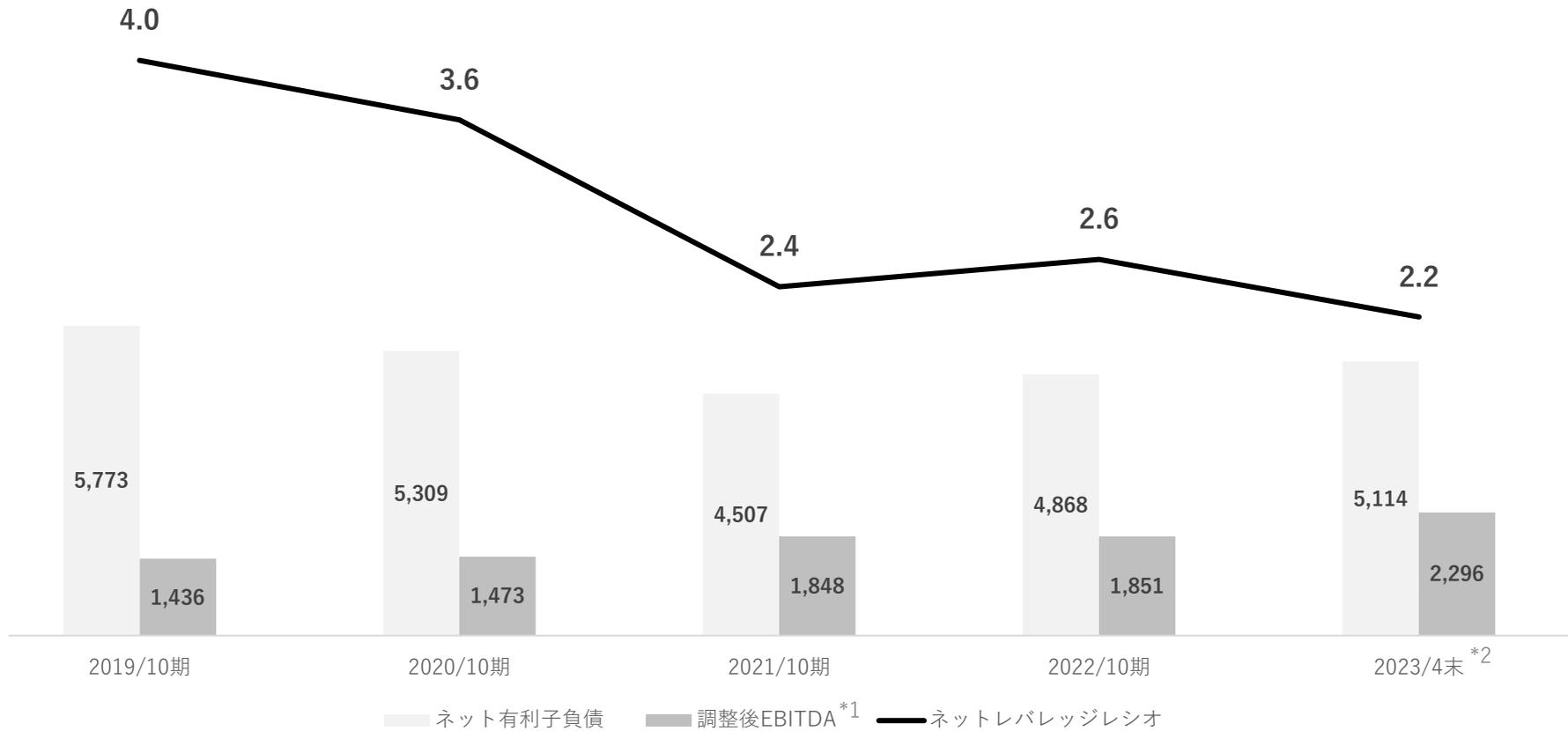
※IFRSを採用していることから、将来に渡って支払う予定の家賃を当該物件を使用する権利とみなし、「使用権資産」（資産側）、「リース負債」（負債側）としてBSに計上されている

	2022/10 期末	2023/10 2Q末	増減
営業債務及びその他の債務	941	877	▲ 63
契約負債	31	2	▲ 28
借入金	1,029	1,665	636
リース負債	1,341	1,356	14
未払法人所得税等	285	285	0
その他の流動負債	453	442	▲ 10
流動負債合計	4,082	4,631	548
借入金	5,780	5,163	▲ 616
リース負債	3,204	3,055	▲ 149
引当金	727	748	20
繰延税金負債	1,348	1,352	3
その他の非流動負債	0	0	0
非流動負債合計	11,061	10,319	▲ 741
負債合計	15,143	14,950	▲ 192
資本金	169	185	15
資本剰余金	4,977	4,992	14
利益剰余金	2,754	2,887	132
その他の資本の構成要素	7	3	▲ 3
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,910	8,069	159
資本合計	7,910	8,069	159
負債及び資本合計	23,053	23,019	▲ 33

借入指標：ネットレバレッジレシオ (ネット有利子負債÷調整後EBITDA)

調整後EBITDAの伸長により、ネットレバレッジレシオは減少傾向

(金額単位：百万円)



*1 調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の償却費は実質的な家賃に相当するため） 16

*2 2023/4末の調整後EBITDAは直近12か月ベースで算出

キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2022年10月期 2Q累計	2023年10月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	467	822
減価償却費及び償却費	740	990
営業債権及びその他の債権の増減	▲ 188	▲ 283
法人所得税の支払額	▲ 278	▲ 256
その他	60	▲ 134
	800	1,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	▲ 144	▲ 220
無形資産の取得による支出	▲ 53	▲ 11
差入保証金の差入による支出	▲ 40	▲ 29
その他	7	▲ 6
	▲ 231	▲ 268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	0	434
長期借入金の調達による収入	0	0
長期借入金の返済による支出	▲ 336	▲ 421
リース負債の返済による支出	▲ 508	▲ 716
支払配当金	0	▲ 421
株式の発行による収入	42	30
	▲ 802	▲ 1,095

IFRS適用による留意点

- IFRS基準では実質的な家賃（使用权資産の償却）が減価償却費に含まれております

(2023年10月期2Q累計の実質家賃：665百万円)

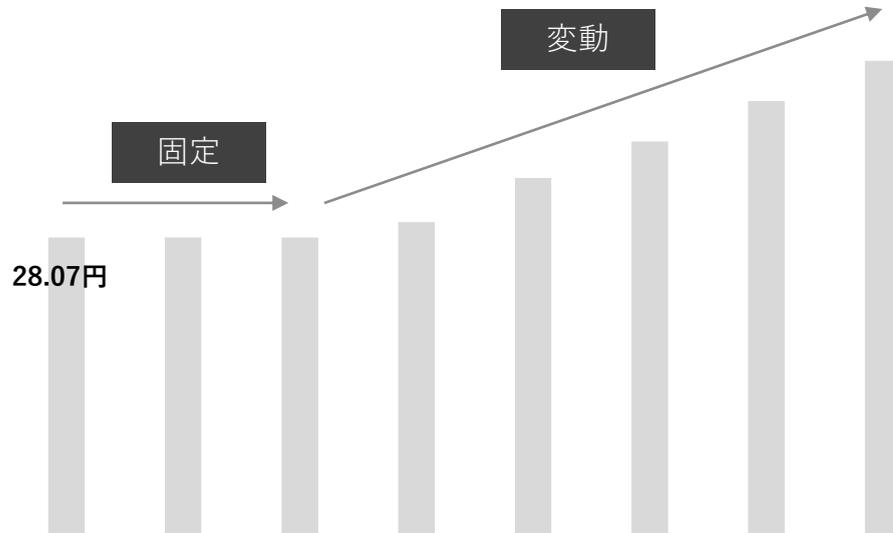
- 実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済」として計上されております

株主還元

配当

未定としていた2023年10月期の配当予想を前期と同額の「1株あたり28.07円」に設定。今後においては「配当性向30%を基準に算出した額と直近の配当金実績額の高い方」とする方針

1株あたり配当金の推移イメージ



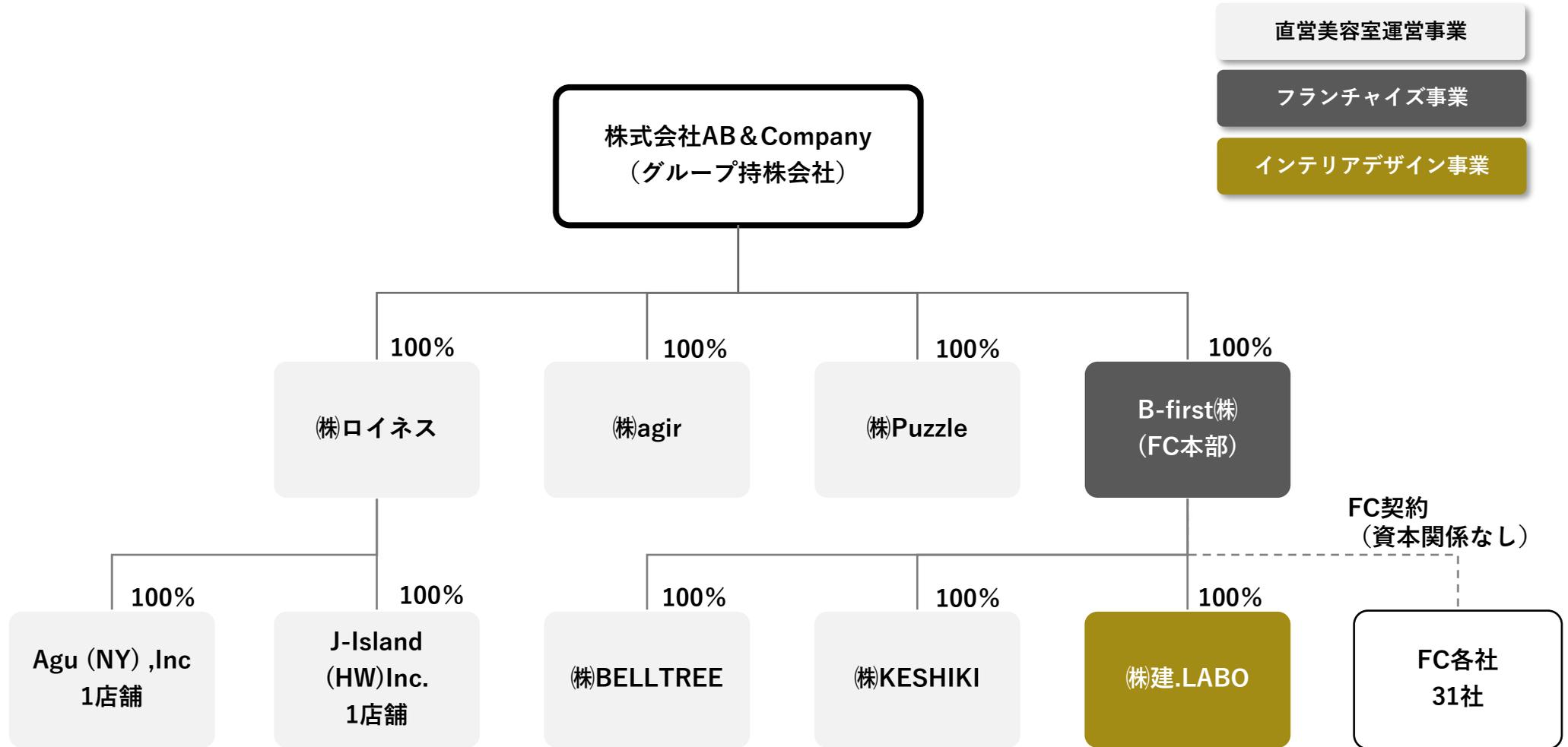
株主優待

今後も新商品開発を継続し、商品ラインナップを拡充予定



APPENDIX

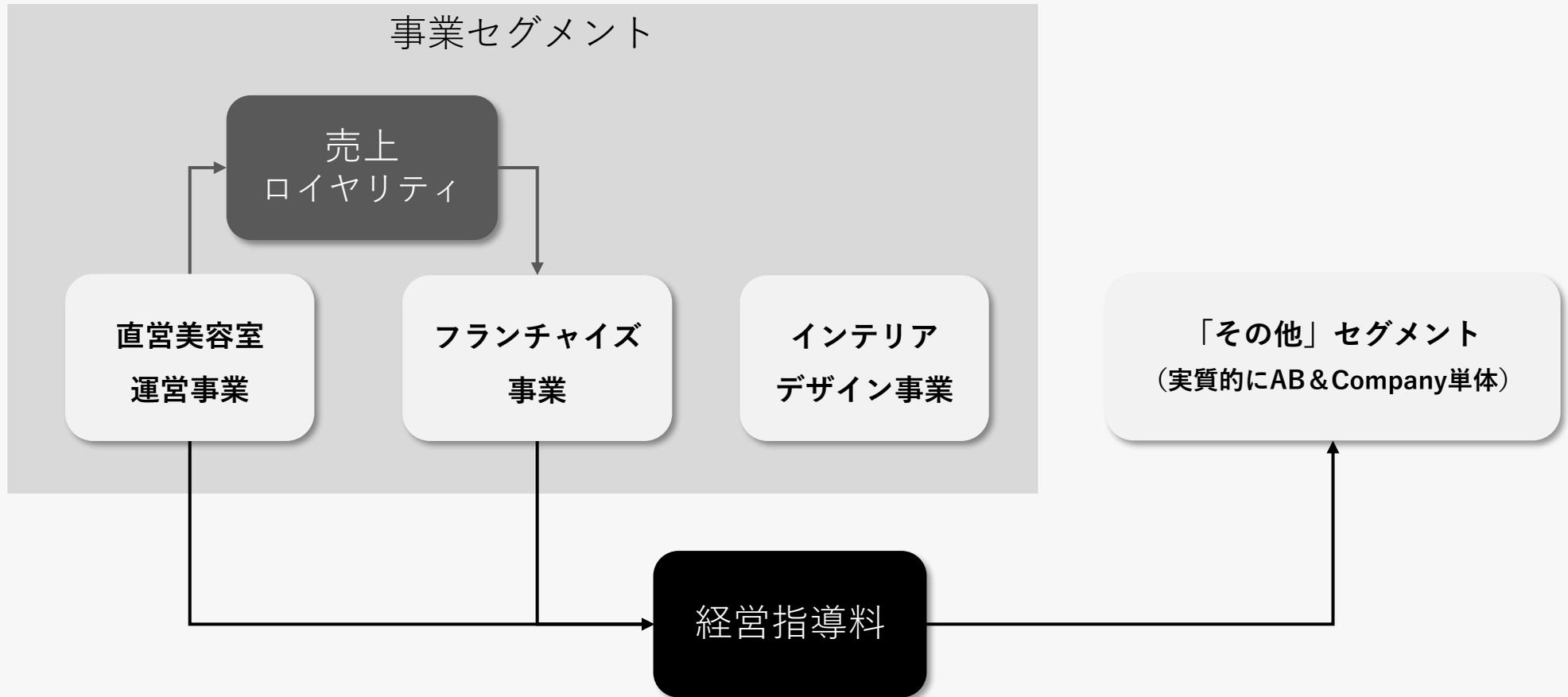
AB & Companyグループ構成図



【参考】セグメント構造

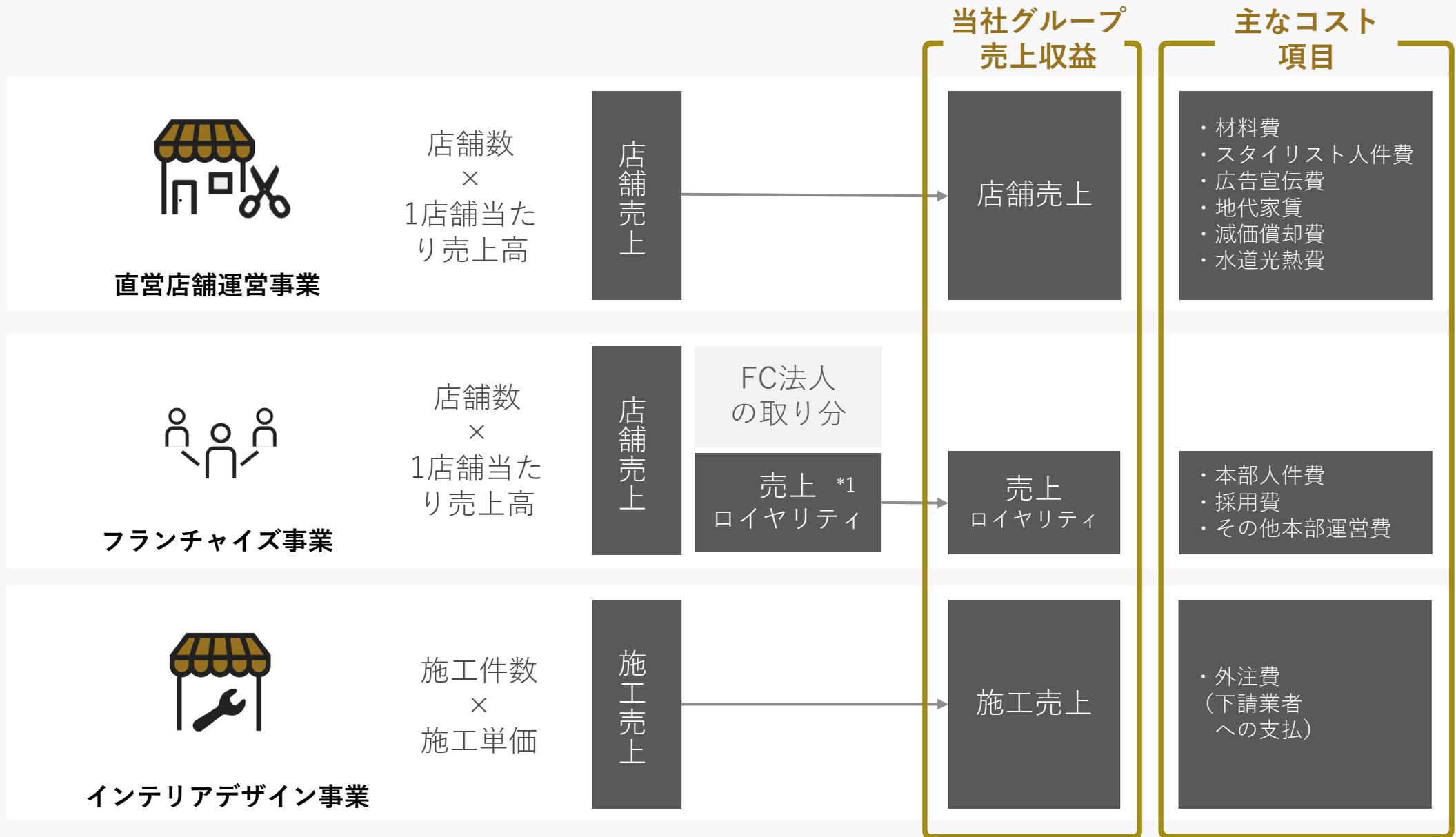
*1

直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導料を支払っている



*1 連結グループ内取引であるため、連結ベースでの財務数値には影響を与えない

セグメント毎の収益モデル



*1 フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」（仕入代
行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動）で構成される